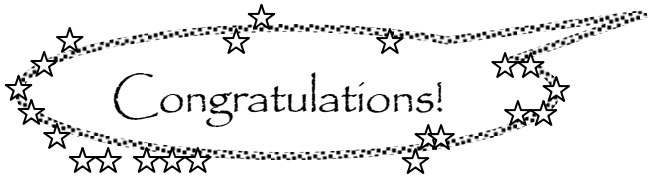
鳴門市民劇場 第50回例会記念

『これまでこんな作品を観てきました。あなたの心に残る作品は……？』

‘98/7	愛が聞こえます（青年劇場）	聾唖者の少女と、彼女をとりまく人々の心温まる物語
‘98/9	デュエット（三生社）	川﨑麻世と鈴木ほのかの楽しいミュージカル
‘98/11	私の下町～母の写真～（木山事務所）	戦前の東京下町、春風ひとみの演技がキラリ
‘99/1	枯れすすき（九プロ）	野口雨情を篠田三郎が演じ、感動を呼びました
‘99/3	小さき神のつくりし子ら（俳優座劇場）	共同企画作品、本当の聾唖者 大橋弘枝の熱演が心に残りました
‘99/5	橙色の嘘（東京芸術座+銅鑼）	鈴木瑞穂のベテランの味。笑って…そしてちょっと哀愁…
‘99/7	十二夜（ﾘﾘｯｸ+幹の会）	平幹二朗のｼｪｲｸｽﾋﾟｱ。男装の麻乃佳世が華麗！
‘99/8	月光の夏～挽歌～（劇団東演）	特攻の少年に涙。知覧の町にも思いを馳せました
‘99/11	ﾌﾟﾗﾊﾞﾌﾞﾗｯｸﾗｲﾄｼｱﾀｰ～空飛ぶ自転車（ｼﾞｬﾊﾟﾝｱｰﾂ）	初めてみる光のマジック！美しい芸術でした
‘00/2	ｸﾞｯﾊﾞｲﾁｬｰﾘｰ（三生社）	ピーターと加納竜の軽妙な演技に拍手喝采
‘00/3	わがババわがママ奮斗記（劇団朋友）	長山藍子が介護の「奮斗ママ」を楽しく演技
‘00/5	華岡青洲の妻（文学座）	有吉佐和子原作で近代日本外科医学の祖を学習
‘00/7	パパのデモクラシー（二兎社）	民主主義への急転期を、面白く、永井愛風に
‘00/9	欲望という名の電車（エイコーン）	栗原小巻のブランチは魅力満開でした
‘00/11	ら抜きの殺意（二兎社）	あの「ら抜き」言葉を永井愛が取り上げた！
‘01/2	ｱﾊﾟｰﾄの鍵貸します（ｼﾙﾊﾞｰﾗｲﾆﾝｸﾞ）	石野眞子と曾我泰久の楽しいミュージカル
‘01/3	銀幕の向こうに（加藤健一事務所）	カトケンさんがちょっと切ない父娘の情愛を…
‘01/5	あヽ東京行進曲（劇団1980）	箱と紐だけで何でも作る演技・技術はあっぱれ！
’01/7	魚屋宗五郎（前進座）	梅之介の名演に歌舞伎の醍醐味を味わいました
‘01/9	日本の面影（地人会）	風間杜夫・三田和代がﾗﾌｶﾃﾞｨｵ・ﾊｰﾝ夫妻を
’01/11	日暮町風土記（二兎社）	渡辺美佐子・高橋長英の味のある演技、共同企画作品でした
‘02/1	罠（五五の会）	初めての本格サスペンス、大空真弓と山本学
‘02/3	黄金色の夕暮（俳優座）	山田太一らしいホームドラマでした
‘02/5	國語元年（こまつ座）	佐藤B作らの「いろんな言葉」に終始大笑い
‘02/7	リア王（ﾘﾘｯｸ+幹の会）	平幹二朗のｼｪｲｸｽﾋﾟｱ。哀しく激しい物語
‘02/9	三人吉三巴白浪（前進座）	サスペンス歌舞伎？？歌舞伎ってこんなに笑えるものだった？
‘02/11	ｼﾞｮｾﾌｨﾝ（地人会）	前田美波里の肢体に酔いしれました.
‘03/2	見よ、飛行機の高く飛べるを（青年座）	明治時代の女学生たちをイキイキと！
‘03/4	アンネの日記（劇団民藝）	あまりにも名作、でも新たな涙と感動が…..
‘03/6	頭痛肩こり樋口一葉（こまつ座）	一葉の知られざる魅力と新橋耐子の「幽霊」に大喝采
‘03/7	はだしのゲン（木山事務所）	音と光の効果で原爆の怖さは募り平和への願いが新たになりました
‘03/9	高き彼物（俳優座劇場）	高橋長英の「先生」と心に傷持つ少年の物語
‘03/11	その場しのぎの男たち（東京ｳﾞｫｰﾄﾞｳﾞｨﾙｼｮｰ）	いつの世も政治家ってこんなもの？大爆笑の渦
‘04/1	缶詰（文学座）	角野卓造ら3人の哀愁中年男性に笑いとホロリ
‘04/3	キュリー夫人（青年劇場）	待ちに待った黒柳徹子さんの名演でした
‘04/5	雁の寺（地人会）	高橋恵子さんの妖艶さ、水上勉作品の重厚さ….
‘04/7	巨匠（劇団民藝）	大滝秀治の渋い演技が心に沁みました
‘04/9	花よりタンゴ（こまつ座）	戦後の焼け跡銀座に生きるたくましい四姉妹！
‘04/11	長江ー乗合い船ー（劇団東演）	中国原作劇。初老のカップルにさわやかな感動
‘05/1	髪結新三ー梅雨小袖昔八丈ー（前進座）	小悪党もなかなか似合った…梅雀の魅力が満載
‘05/3	煙が目にしみる（加藤健一事務所）	カトケンさんの「桂ばあちゃん」名演に脱帽
‘05/5	冬物語（ﾘﾘｯｸ+幹の会）	平幹二朗のｼｪｲｸｽﾋﾟｱ。奇をてらった演出にも驚き
‘05/7	ミラクル（ｲｯﾂﾌｫｰﾘｰｽﾞ）	あおい輝彦パパと少年のちょっぴり切ない物語
‘05/9	赤い月（文学座）	なかにし礼の自伝的小説。TV映画でもお馴染み
‘05/11	竜馬の妻とその夫と愛人（東京ｳﾞｫｰﾄﾞｳﾞｨﾙｼｮｰ）	B作と平田満+妖艶あめくみちこの傑作コメディ
‘06/2	兄おとうと（こまつ座）	吉野作造・信次兄弟の「仲良く喧嘩」の半生が井上ひさし流に描かれました
‘06/3	私生活（ｼﾙﾊﾞｰﾗｲﾆﾝｸﾞ）	水谷八重子ら4人役者による軽快ラブコメディ
‘06/5	怒りの葡萄（劇団昴）	狭い舞台にアメリカの大地を見事に表現！
‘06/7	夢があるから（ｽｲｾｲﾐｭｰｼﾞｶﾙ）	歌と踊りに目を奪われストーリーに心打たれ..
‘06/9	**明石原人（劇団民藝）**	実在の考古学者 直良信夫とその妻音の「夫婦の物語」